

笑顔が広がる

まちとするための「創造と挑戦」

平成29年3月市議会定例会で北川市長が発表しました。
全文は市ホームページ「企画政策課」で見ることができます。

図 企画政策課

都市格の向上と
いつまでも愛される
市となるために

平成28年度は、「笑顔が広がるまちづくり元年」として、市長就任後、初めて編成した当初予算に基づく施策・事業を実施した年度でありました。

事業実施に当たっては、「命を守る」を基本とした市政を運営するための健康部・こども部を設置し、「笑顔が広がるまち」の実現に向けた施策、「確かな暮らしを次代につなげる」ための施策を推進してまいりました。

また、昨年6月に、中核市移行を目指すことを表明しました。平成31年4月の移行に向け、行政事務の権限の拡充に対応し、効率的な行政サービスの提供と独自のまちづくりを展開する執行体制を確立し、より一層の行財政基盤の整備を進めてまいります。

そして、今月下旬には、打上川治水緑地で桜のライトアップを実施します。市民には、一層本市に愛着を持っていただき、市外居住者には本市に興味・関心を持っていただく取組として進めてまいります。

※ ※



さて、昨年を振り返りますと、日本各地において大きな地震が続く年でありました。特に、熊本では、幾度とない大きな揺れにより、甚大な被害をもたらすものであったことから、義援金の送付、職員派遣を行ったところであります。

被害を最小限にとどめ、市民の生命、財産を守る支援体制を構築することの大切さを改めて感じました。

また、国際情勢では、イギリスのEU離脱や、アメリカ大統領選挙の結果など、反グローバル主義や経済格差の広がりへの反発、また、民主主義の在り方について考えさせられる出来事が起こり、我が国の政治・経済もその影響を受けることが予測されます。地域と行政がより一層連携して暮らしを支え、市民に幸せに暮らしていることを感じていた

だくことの重要性を再認識したところであります。

一方、スポーツで印象深いことがあった年でもありました。本市にとって最も印象に残る出来事と言えば、ふるさと大使である大関豪栄道関の秋場所全勝優勝であります。大阪府出身力士としては、86年ぶりの快挙となりました。

競技者本人の努力はもちろんのこと、関係者のサポート、信頼関係が生んだ結果であるとも感じております。

※ ※
市政運営におきましても、時代の要請、複雑化する市民ニーズへの的確な対応、市民との信頼関係の構築のため、市民から御意見を聴きし、新たな施策・事業に取り組む際には、どのような方法が効果的であるか検討した上で進めることが大切であります。

平成29年度は、以上の考え方を踏まえ、笑顔が広がるまちとするための「創造と挑戦」の年としてまいります。

市民に満足していただける市政運営を

私は、これまでも、地域の行事などで、市民の声を聴きしてまいりました

が、市長に就任して以来、本市が直面している課題や市政に期待されていることなど、より多くの声をお聴きするようになりました。市民の声を、私の「政治は暮らしである」という信念に照らし合わせて熟慮し、施策・事業を展開し、効果や成果を実感していただくことが市長としての第一義であると認識しております。

また、2年後の中核市移行に向け、都市格を向上させ、市民にいつまでも愛される市となるには、より一層魅力ある市となるための創造と挑戦が必要であると感じているところであります。

「笑顔が広がるまち」とするため、自らが先頭に立ち、職員と心を一つにし、市民に満足していただける市政を目指し、邁進してまいります。

基本方針

- まちの安全・安心を根付かせる
- 「笑顔で子育て・教育」を実感できるまちへ
- 都市格を向上させる



平成29年度の 主要な施策・事業

健康・医療・福祉のまちづくり

誰もが生涯を通じて健康で心豊かに暮らせるよう、必要な医療・福祉サービスを受けることができる体制を充実させ、健康寿命の延伸と生活の質の向上を図ります。

命を守る施策

○ドクターカーの導入

救命率などを向上させるため、医師が同乗するドクターカーを導入し、救命救急体制の強化を図ります。

○高齢者交通系 IC カード購入等支援

高齢者の外出促進、介護予防などのため、交通系 IC カードの購入等費用を支援します。

○高齢者・障害者のための福祉避難所における備蓄

災害発生時に、配慮が必要な高齢者・障害者が福祉避難所で利用する生活必需品を備蓄します。

○（仮称）健康増進計画の策定

○第2期データヘルス計画の策定

○介護予防・日常生活支援総合事業の実施

○医療機関、介護事業者等の連携の推進

○障害者の相談支援体制の強化



命を守るドクターカー

子どもを守り育てる環境づくり

将来の本市を担う子どもたちが夢と希望を抱いて成長し、心豊かで思いやりをもって元気に生きるため、市民からの信頼に応える教育を推進するとともに、多様化する子育て世代のライフスタイルに合わせた支援の充実を行います。

子どもを守る施策

○（仮称）子育てリフレッシュ館の整備

子育て家庭への更なる支援の充実のため、屋内遊びスペースや一時預かりなどの機能を有する施設の平成30年春オープンに向け、新築工事などを実施します。

○（仮称）ねやがわ☆子育てスタート応援クーポンの配布

子育て支援サービスなどの利用促進のため、3歳未満の子どもの保護者にクーポンを配布します。

○「待機児童 ZERO プラン」の推進

年間を通じた待機児童の解消のため、保育士の処遇改善、配置基準を上回る保育士の事前配置などに取り組みます。

○中学校休業日等学習支援事業の対象拡大

学校での授業以外に学習支援を行う「寝屋川スマイル塾」の対象者を全中学生に拡充し、生徒の学力向上を図ります。

○保育コンシェルジュの配置

○子ども食堂の開設・運営への支援

○児童虐待防止体制の強化

○第二学期の授業時数の増に伴う、小中学校給食提供の拡充

○英語村（英語力向上プラン）事業の対象拡大

○小中一貫校の設置に向けた会議の開催



市立さくら保育所の子どもたち

安全で安心なまちづくり

安全・安心な地域社会を実現するため、都市インフラの計画的な整備や適切な維持・管理、住宅の耐震対策に取り組むとともに、地域防災力と市民の防災意識の向上並びに、関係機関と連携した防犯の強化に取り組めます。

街を守る施策

○高宮ポンプ場、古川雨水幹線の整備

浸水対策の新たな根幹施設として、高宮ポンプ場（平成33年度末完成予定）及び古川雨水幹線の整備事業を推進します。

○緊急時応急給水所の整備

あんしん給水栓を活用した緊急時応急給水所を整備し、災害時の飲料水などの確保を図ります。

○防災井戸の設置

避難所となる小学校10校に井戸を設置し、災害時の生活用水の確保を図ります。

○非常用食料等の充実

南海トラフ巨大地震を始め、あらゆる災害を想定した備蓄物資を全小中学校に配備します。

○南前川ポンプ場耐震補強工事

○高宮あさひ丘配水場更新工事

○水道事業アセットマネジメント計画及び下水道事業ストックマネジメント計画の策定

○上下水道事業PR（市民公募水道写真展の開催、マンホールカードの配布等）

○老朽木造集合住宅の除却及び主要生活道路等の整備

○家庭用防災用品の購入への支援

○地域防災計画の改訂

○避難所開設・運営マニュアルに基づく避難所開設・運営訓練の実施

○防犯カメラの設置拡大

○小中学校の夏季休業期間の深夜防犯パトロールの強化



高宮ポンプ場
完成イメージ図

快適で魅力あるまちづくり

快適で魅力ある都市であり続けるため、効率的・効果的に都市空間を活用できる環境整備、ゆとりある生活環境の創出に取り組むとともに、環境負荷の低減を図るため、環境保全の取組への支援を推進します。

街を守る施策

○対馬江大利線の整備

交通環境の改善を図るため、都市計画道路対馬江大利線（密集住宅地区区域850メートル）の整備に向け、用地の取得などを実施します。

○東寝屋川駅周辺のまちづくりの推進

地域特性をいかしたまちづくりを進めるため、都市計画道路東寝屋川駅前線の整備に向け、用地の取得などを実施するとともに、打上高塚町土地区画整理事業を支援します。

○新ごみ処理施設の建設

市民に親しまれる新たなごみ処理施設の建設を平成29年度末に完了します。

○立地適正化計画の策定

○地域公共交通網形成計画の策定に向けた調査等の実施

○公共施設等総合管理計画に基づく個別計画の策定

○京阪本線連続立体交差事業の早期着工に向けた用地の取得等

○小路土地区画整理組合への支援

○空き家等・老朽危険建築物等対策計画の策定

○緑の基本計画の改定に向けた調査等の実施



小路地区の
土地区画整理事業の整備風景



くらし 生活やすさが実感できるまちづくり

「地域でできることは地域に」という観点から、地域力向上のための取組を検討します。
また、より多くの市民に市政について知っていただき、市政に対する市民の信頼を確保するため、更なる情報発信と利便性の高い市民サービスの提供に取り組みます。

生活を守る施策

○証明書発行窓口タッチパネル式券売機の設置

窓口対応の迅速化を図るため、証明書発行窓口
にタッチパネル式の券売機を設置します。

○ビデオ通話相談窓口の設置

窓口タブレットパソコンを設置し、ビデオ通話
や多言語翻訳、音声文字変換などのアプリ機能を
活用して、窓口での相談体制の充実を図ります。

○国民健康保険料の引下げ

事業の見直し額などを活用するとともに、一層
の財政健全化を図り、国民健康保険料を引き下げ
ます。

○地域協働のまちづくりを進化させるための取組の検討

○（仮称）福祉のまちづくりひろばの開催

○市政情報のオープンデータ化の推進

○携帯端末用アプリケーションソフトの構築



活力あふれるにぎわいのまちづくり

中核市にふさわしい市として、住みたい、住み続けたいと思っていただくため、まちの活性化、イメージ
アップに向けた取組を推進します。

○マスコット・キャラクターの普及

市のイメージアップを図るため、新たなマスコット
・キャラクターを作製し、普及を図ります。

○御当地ナンバープレートの交付

市への愛着を高めるため、原動機付自転車用の
新たな御当地ナンバープレートを交付します。

○サクラ☆プロジェクト

市の木である桜をテーマに、桜のライトアップ、
桜の植樹、桜のにぎわいづくり事業、サクラ
スイーツコンテスト、出生記念植樹プレートの作
製などを行います。

○結婚新生活への支援

定住促進、少子化対策のため、新たに結婚した
世帯の新生活を支援します。

○ねやがわシティ・ステーションの就労支援窓口とハロー ワーク職業紹介コーナーとの連携による雇用対策の推進

○シティプロモーションに関する戦略の策定

○囲碁・将棋文化の活性化を図る活動の推進

○ふるさと納税の寄附者への返礼品の送付

○出生の届出時の思い出に残るメッセージカードと赤 ちゃんを守る防災物品の配布

○中核市移行に向けた基本的な方針の策定等



桜のライトアップ（イメージ）

用語 解説

●**シティプロモーション**…市の魅力を創出し、市の特徴を市内外に発信することで、市のイメージアップや知名度の
向上を図るための取り組み。●**防災井戸**…災害に伴う断水時の生活用水の確保のために設置する井戸。●**子ども食
堂**…経済的理由などにより1人で食事をとるなどの環境にある子どもに無料又は安価な料金で食事の提供などを行う
取り組み。●**オープンデータ**…機械判読に適し、利活用可能なルール範囲内で加工などができるように公開された
データ。